

2021年6月10日

九州学生選手権大会出場制限について

関係各位

九州学生バドミントン連盟 会長 伊藤 龍峰
九州学生バドミントン連盟 委員長 内木場 輝広

表記の件につきましてご連絡いたします。

6月の上旬に九州学連で会議を行い、会議開始の時点では大分県からの中止要請もなかったため、予定通りの日程かつ出場制限をかけずに実施する方向で会議を終了いたしました。

その後、大分県協会より九州学生選手権の大分開催を中止してほしいとの要請がありました。しかし、従来の日程を延期にしたとしても、西日本学生との兼ね合いを考えると実施できる期間がなく、また、場所の確保もワクチン接種が始まる関係でさらに確保が難しいと予想され、加えて本大会が全日本学生の推薦枠を決める重要な大会であることから、再度大分県協会と協議を行いました。

その結果、以下の条件での実施の許可を得ることができました。

- (1) 開催を6月21日以降とすること（期間を短縮し、6月20日から6月24日までとする）
- (2) 可能な限り規模を縮小すること（Aのみの開催とし、Bは中止とする。また、Bが中止となった場合にAでの参加は認めない）
- (3) 感染対策を徹底すること

九州学連としましては参加制限をかけずに実施することを第1に行動してまいりましたが、やむを得ずこのような条件での開催となりました。

今回参加が出来なくなった選手に対して大変申し訳ないという思いとともに、本大会は全日本学生の推薦枠を決めることが最も重要であることをご理解の上、ご了承頂ければ幸いです。

大会まで10日程となりました。参加される選手の皆様および関係者の皆様におかれましては、無事に大会へ出場できるよう、感染症対策を十分に講じた上でお過ごしください。